

⑧実用新案公報

⑨公告 昭和47年(1972)2月15日

(全2頁)

1

⑩高さ調節を可能にした枕

⑪実願 昭42-110216
⑫出願 昭42(1967)12月29日
⑬考案者 出願人に同じ
⑭出願人 長井義幸
奈良県北葛城郡広陵町大字笠41
2の1

代理人 弁理士 古賀貢

(出願人において、権利譲渡または実施許諾の用意がある)

図面の簡単な説明

本考案はかかる実施例を示すもので、第1図は要部の側面図で一部切欠したものであり、第2図は一部切欠した同正面図、第3図は高低の調節の状態を示す説明図、第4図はカバーを被覆した時の斜視図である。

考案の詳細な説明

本考案は高低の調節を可能にした枕に関するものである。

実施例を図面について説明すれば、2, 3及び2', 3'は中心軸1の左右両端に於いて開閉自在に枢着された対向する二叉支持杆であり、横杆4, 4'は対向する支持杆2, 2'の下端と上端をそれぞれ連結する横杆であり、5, 5'は対向する支持杆3, 3'の下端と上端をそれぞれ連結する横杆である。6は二叉支持杆の上段部に装置した復元用のバネである。7は下段中央に装置する高低の調節をする四角柱軸で、軸支片8, 8'で軸支され前面に高低を示す目盛板13を装着し各軸面に適當間隔を置いて対設する一対の突起9, 9', 10, 10', 11, 11', 12, 12'はそれぞれの間隔を順次狭くして設置する。14は戻止めで各突起の内側に装置し外方向へ起伏可能とする。15は下段のスプリング受板でその上面の中央にU溝を設け両側端に上記軸支片8, 8'の下端が固着され下面の両突縁16, 16'間にスプリング17を数条張設する。18は彈

2

力性のある合成樹脂で形成したクツションでスプリング受板の表面を被覆するようにして装着する19は上段のスプリング受板で上面の突縁20, 20'間に数条のスプリング21を張設しその表面に弾力性合成樹脂製のクツション22を装着する。23, 23'は受板15と19とを連結したバネであり、24は伸縮可能に被覆した枕カバーである。

本考案の構成は以上の通りで、使用の一例を第10 3図について説明すれば、aの状態の高さをBの高さにするには目盛表示に従い調節軸を回転すれば、バネ6の収縮により、二叉支持杆の上下の連結横杆4, 5, 4', 5'と突片11, 11'の係止がはずれて点線で図示するよう二叉支持杆の開きが縮小した後、枕に加える圧力即ちバネ23, 23'や手力で直にBの状態の開きとなり、連結横杆は突片12, 12'に係止され戻止め14で逆行を防止されて安定する。この際戻止め14は外側方向へは起伏可能であるので連結横杆の外側方向への摺動を妨げることはない。Bの状態から逆にAの状態にする場合も同様である。従つて希望する高さの目盛に合せて枕の高低を調節することができる。即寝ながら読書したり、テレビを見る場合は最高の目盛りに合せ、安眠には最低目盛にするなど四段階に調節することができる。構造上通気性もよく、したがつて衛生的であり、軽量で取扱いにも便利であるなどの利点がある。

実用新案登録請求の範囲

本文に詳記した通り、中心軸1の両端に二叉支持杆2, 3と2', 3'を対向させて開閉自在に枢着し、対向する二叉支持杆の上端及び下端をそれぞれ横杆4, 5, 4', 5'で連結し、二叉支持杆の上段部にバネ6を装置し、軸支片8, 8'で軸支する四角柱状の高低調節軸7はその前面に目盛板13を装着し該軸の各平面部に適當間隔を置いて対設する一対の突起9, 9', 10, 10', 11, 11', 12, 12'はそれぞれの間隔を順次狭くして設置し、各突起の内側に外側方向にのみ起伏可能な戻止め14を装置し、上面に

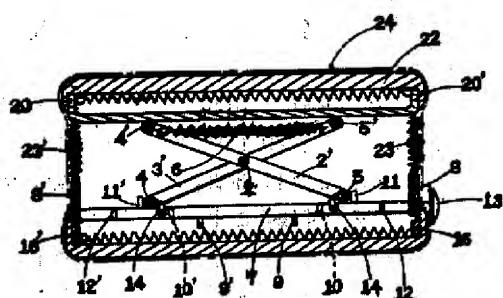
3

4

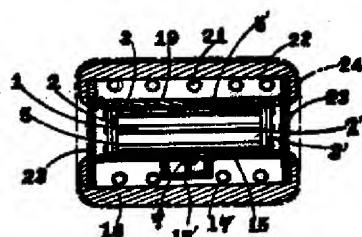
設けたU溝の両端に軸支片を定着する下段のスプリング受板15は下方向へ突出した突縁16, 16'間にスプリング17を数条張設しその表面を弾性合成樹脂製のクツション18で被覆し上段のスプリング受板19はその上面の突縁20, 20'

間にスプリング21を数条張設しその表面に弹性合成樹脂製のクッション22を被覆装着し、上下の受板はバネ23, 23'で連結し、全体をカバー24で被覆して成る高さ調節を可能にした枕

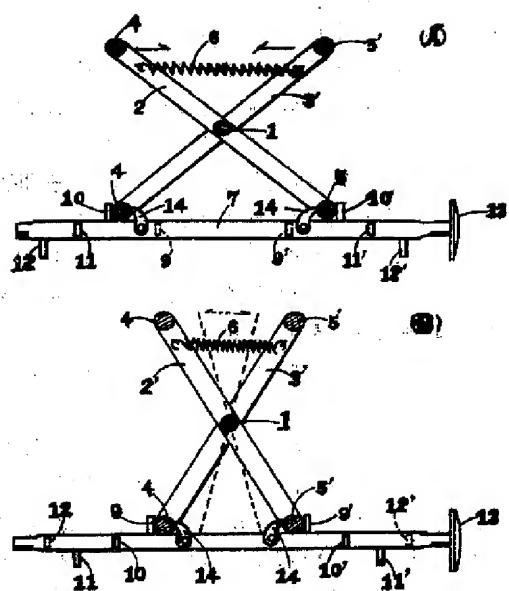
第1回



第2図



第3回



第4回

